

岐阜県内中小企業の景況動向
中小企業団体情報連絡員70名(うち70名分の集計)の情報連絡票から
平成30年8月末調査(前年同月比)
岐阜県中小企業団体中央会

〔Ⅰ〕8月の特色

- ◆ 景況感D I 値マイナス20 ～前月比3ポイントの改善～
- ◆ 売上高・収益状況D I 値がそれぞれ3ポイント・4ポイントの悪化
- ◆ 先月に引き続き猛暑・台風などの天候要因が非製造業を中心に悪影響

〔Ⅱ〕8月の概況

当月の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、好転7、悪化27で、D I 値はマイナス20となり、前月のD I 値マイナス23に対し、3ポイントの改善となった。

業種別の景況動向を前年同月比の景況感D I 値で見ると、製造業のD I 値はマイナス17となり、前月比で5ポイントの改善、非製造業のD I 値はマイナス24となり、前月比で±0ポイントの横ばいとなった。

なお、回答のあった70業種のうち、前年同月比で景況感が「好転」と回答した業種は、毛織物、可児工業団地、機械・工具販売、家電機器販売、鉄構造物の5業種(前月比±0業種)。

また、「悪化」と回答した業種は19業種(前月比-2業種)となっている。

主要な調査項目を見ていくと、売上高D I 値はマイナス24で前月比3ポイントの悪化、販売価格D I 値は2で前月比2ポイントの改善、収益状況D I 値はマイナス33で前月比4ポイントの悪化、資金繰りD I 値はマイナス8で前月比3ポイントの改善、雇用人員D I 値はマイナス6で前月比1ポイントの改善となった。

コメントを見ると、製造業では、「組合員企業のアンケート調査によると可児工業団地の景況感は引き続き好調。すべての項目で「増加、上昇、好転」のプラス指標となっている。(可児工業団地)」、「環境対策、人対策の一環で、設備導入、設備改善の投資を増やす組合員が増えている。(鋳物)」などプラスの内容が報告された一方で、「依然として消費は上向かず、クリアランスも不調。デフレ傾向は収まらず厳しい経営環境が続いている。(婦人子供服)」などマイナスの内容が報告された。

非製造業では、「主力の取扱商品である切削工具の需要が高い水準を維持し続けており(今年度は過去最高も視野)、外需も好調である。受注残が多いため売上が順調に推移している。(機械・工具販売)」などプラスの内容が報告された一方で、「陶磁器業界全体の需要が停滞していることに加え、運送費・原油ガスの値上げ等のコストアップが大きな負担となっている。(陶磁器卸)」、「8月の宿泊人員は、12,943人(10.5%)の減少となった。7月、8月の2カ月間で前年対比30,000人以上が減少した。(下呂温泉旅館)」、「8月の景況は 先月に続き悪かった。7月の豪雨災害の影響を受け観光客の足が確保されず、高山市のみならず飛騨地方一円に観光客減少の影響が小売商業全般に響いたと言える。(高山市商店街)」、など天候要因や資材の高騰を原因として、売上高を始め収益の悪化・減少を伝える内容が多く報告された。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加18、減少42でDI値はマイナス24となり、前月のマイナス21に対し、3ポイントの悪化となった。

売上高が増加した業種は13業種（前月比－1業種）あり、毛織物、縫製（既製服）、家具、機械すき和紙、砕石生産、メッキ、可児工業団地、電設資材卸、機械・工具販売、青果販売、家電機器販売、生花販売、理容・美容業である。

売上高が減少した業種は30業種（前月比＋1業種）あり、特に木材・木製品、商店街、サービス業、建設業の区分が多かった。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇14、低下12でDI値は2となり、前月の0に対し、2ポイントの改善となった。

販売価格が上昇した業種は10業種（前月比±0業種）あり、牛乳、米菓、毛織物、縫製（既製服）、東濃ひのき、可児工業団地、青果販売、水産物商業、石油製品販売、貨物運送（県域）である。

販売価格が低下した業種は9業種（前月比－1業種）となった。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化38でDI値はマイナス33となり、前月のマイナス29に対し、4ポイントの悪化となった。

収益状況が好転した業種は4業種（前月比±0業種）あり、縫製（既製服）、メッキ、可児工業団地、家電機器販売である。

収益状況が悪化した業種は27業種（前月比＋3業種）あり、特に卸売業、商店街、サービス業の区分が多かった。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転2、悪化10でDI値はマイナス8となり、前月のマイナ11に対し、3ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は2業種（前月比＋1業種）あり、可児工業団地、家電機器販売である。

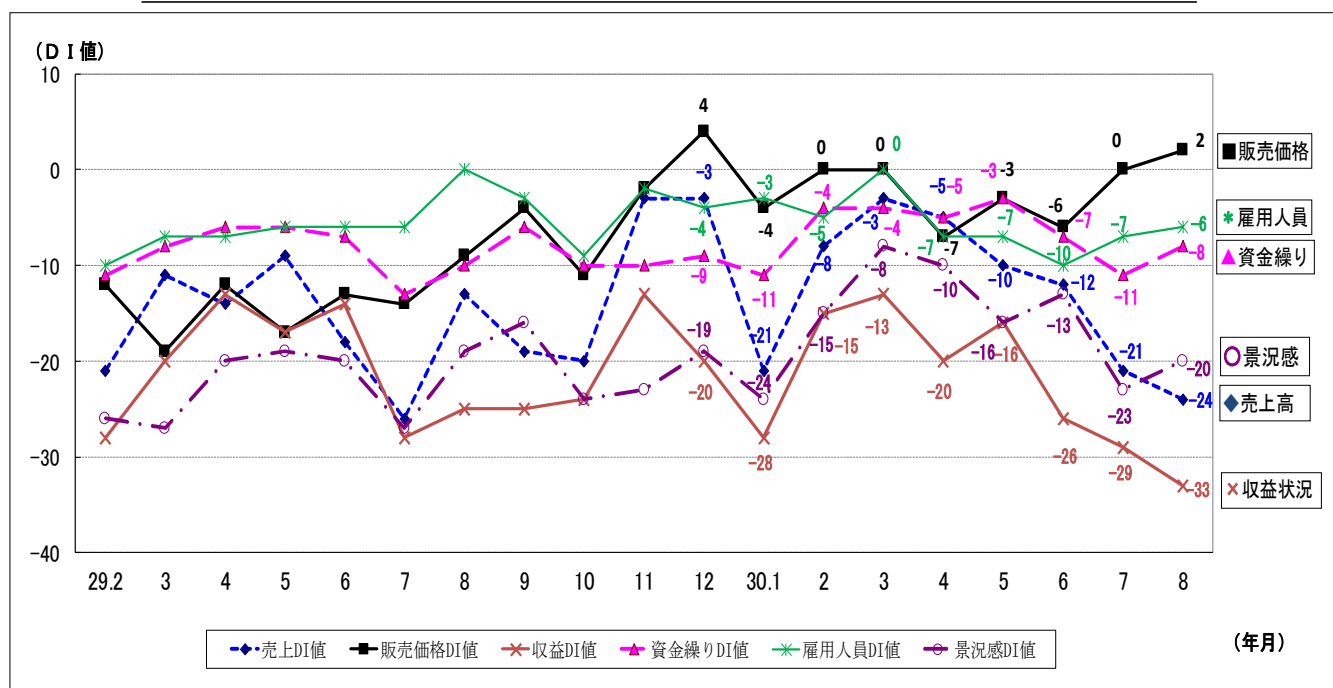
資金繰りが悪化した業種は7業種（前月比－2業種）あり、特にサービス業の区分が多かった。

雇用人員の動向は、前年同月比で好転4、悪化10でDI値はマイナス6となり、前月のマイナス7に対し、1ポイントの改善となった。

雇用人員が増加した業種は3業種（前月比－2業種）あり、縫製（既製服）、可児工業団地、機械・工具販売である。

雇用人員が減少した業種は7業種（前月比－3業種）であった。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、雇用人員、景況動向 DI値の推移(前年同月比)



〔Ⅲ〕業種別(製造業・非製造業) 動向 (8月末調査)

1. 製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳	△	○	△	△	△	△
	食肉(国産)	▲	△	▲	▲	△	▲
	菓子	▲	△	△	△	▲	▲
	米菓	△	○	△	△	△	△
	製麺	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	撚糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業	△	▲	△	△	△	△
	毛織物	○	○	△	△	△	○
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	△	△	△	△	△	△
	婦人・子供服	▲	▲	▲	△	△	▲
	縫製(既製服)	○	○	○	△	○	△
木材・木製品	製材	△	△	△	△	△	△
	銘木	▲	▲	▲	△	△	△
	家具	○	△	△	△	△	△
	東濃ひのき	▲	○	△	△	△	△
紙・紙加工品	機械すき和紙	○	△	△	△	▲	▲
	特殊紙	▲	△	▲	△	△	▲
	紙加工品	△	△	△	△	△	△

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
印刷	印刷	△	△	▲	▲	△	△
化学ゴム	プラスチック	△	△	▲	△	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	△	△	▲
	タイル	△	△	△	△	△	△
	窯業原料	▲	△	▲	△	△	△
	石灰	▲	▲	▲	△	△	▲
	生コンクリート	△	△	△	△	△	△
	砂利生産	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	砕石生産	○	△	△	△	△	△
	鋳物	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	△	△	△	△
	刃物等金属製品(内需)	△	△	△	△	△	△
一般機械	メッキ	○	△	○	△	△	△
	県金属工業団地	▲	△	△	△	△	△
	可児工業団地	○	○	○	○	○	○
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	▲	△	▲	△	△	▲

凡例
 ○ ⇒ [増加]、[上昇]、[好転]
 △ ⇒ [不変]
 ▲ ⇒ [減少]、[下降]、[悪化]

2. 非製造業

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	○	△	△	△	△	△
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	▲	○	○	○
小売業	青果販売	○	○	▲	△	△	▲
	水産物商業	▲	○	▲	△	△	▲
	家電機器販売	○	△	○	△	△	○
	メガネ販売	△	△	△	△	△	△
	中古自動車販売	△	▲	△	△	▲	△
	石油製品販売	▲	○	△	△	▲	△
	共同店舗(飛騨)	▲	△	△	△	△	△
	生花販売	○	△	△	△	△	△
商店街	商店街(岐阜)	▲	▲	▲	△	△	△
	商店街(大垣)	▲	△	▲	△	▲	△
	商店街(高山)	▲	△	▲	△	△	▲
サービス業	自動車車体整備	△	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	▲	△	▲	▲	△	▲
	下呂温泉旅館	▲	△	▲	▲	△	▲
	高山旅館	▲	△	▲	▲	△	▲

業種区分	業種	前年同月比					
		売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
サービス業	クリーニング	▲	△	▲	△	△	△
	広告美術	▲	▲	▲	▲	△	▲
	旅行業	▲	△	▲	△	△	△
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	△	△	△	△
	土木(飛騨地区)	▲	△	△	△	△	△
	建築設計	▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄構造物	△	△	△	△	△	○
	電気工事	▲	△	△	△	▲	△
	管設備工事	△	△	△	△	△	△
	建築板金	△	△	△	△	△	△
	室内装飾	△	△	△	△	△	△
運輸業	貨物運送(県域)	△	○	▲	△	▲	△
	軽運送	△	△	△	△	△	△
	その他の非製造業	▲	△	▲	△	△	▲

凡例	○ ⇒	[増加]、[上昇]、[好転]
	△ ⇒	[不変]
	▲ ⇒	[減少]、[下降]、[悪化]